

は じ め に

本市では、平成20年3月に「宇和島市健康づくり推進計画」を策定し、宇和島市総合計画に定める「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」を政策目標として、さまざまな健康づくり施策に取り組んでまいりました。

5年が経過いたしました。この間、国では、医療制度改革が進み、メタボリックシンドロームの概念を導入した対策が図られ、合併症や症状の進展などの重症化予防も重要視されるようになりました。

宇和島市におきましても、直近の高齢化率は32%を越えました。10年後には、人口はさらに減少し、高齢化率は41%となり、2人に1人は高齢者と15歳未満が占めるとの予測もされています。

そのような見通しの中、ライフステージにおいては、乳幼児期～思春期を健やかに過ごし、青年期～壮年期では「自分の健康は自分で守る」という意識を持って体と心を大切に、元気な高齢期を迎えることが重要と考えます。

また、健康レベルに応じた健康維持や生活習慣改善、疾病の早期発見・早期治療、適切な療養の継続は、自分らしい生きいきとした人生を送るために必要なものです。そのためには、個人の力だけでなく、家庭、地域、そして学校や職場、行政等が支え合って環境を整えることが大切です。

「宇和島市健康づくり推進計画（第2次）」は、平成25年度から平成36年度までの長期計画です。「壮年期死亡の減少」、「健康寿命の延伸」、「生活の質の向上」という目標を継承し、市民一人ひとりが積極的に健康づくりに取り組むことができるよう、計画の実現を目指していく所存であります。

終わりに、今回の計画策定にあたり、アンケート調査にご協力いただいた市民の皆さまをはじめ、健康づくり推進協議会の委員の皆さま、関係各位に対しまして、心から厚くお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成25年3月

宇和島市長 石橋 寛久